

2020年5月27日

会員各位

日本スイミングクラブ協会のエビデンス発表について

(新型コロナウイルスについて)

平素より、スポーツクラブ Vivo、VivoBearsi をご愛顧頂き、誠にありがとうございます。これまで当クラブでは新型コロナウイルスの感染拡大を受け、いち早く対策を講じ、皆様に安心してご利用いただける環境づくりを進めて参りました。これも偏に会員様のご理解とご協力があったものと深く感謝しております。この度、一般社団法人 日本スイミングクラブ協会より、新型コロナウイルス予防に関して、下記のエビデンスが発表されました。当クラブと致しましては、非常に信頼性のあるものとして、今後の予防対策に希釈した次亜塩素水とアルコール消毒液を併用していく事と致しました。少しでも皆様の不安が軽減できますよう対策を強化して参りますので、ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

【次亜塩素によるウイルス不活性化】(日本スイミングクラブ協会 新型コロナウイルス塩素殺菌の提言
新型コロナウイルスCOVID-19について 表1,2 参照)

新型コロナウイルスは RNA ウィルス という種類のウィルスで、インフルエンザウィルスと同じ種類のウィルスです。RNA ウィルスは、水中に投入された殺菌力のある塩素によって **99%~99.9%の不活性化が実証されています。**

従って、厚生労働省が定める遊離残留塩素の値 0.4 mg/L~1.0 mg/L でウィルスは不活性化されます。

ウィルスが不活性化されていれば、人間の気道粘膜上皮細胞に取り込まれることはなく、感染はしません。

【加湿によるウイルス不活性化】(4月23日ワシントンロイター通信より)

厚生労働省は、インフルエンザウィルスの感染対策として「湿度50%以上の加湿」を推奨しています。先にも述べましたが、新型コロナウイルスとインフルエンザウィルスは RNA ウィルスという同じ種類のウィルスですので、**新型コロナウイルスも水・多湿に弱いウィルス種と考えられます。**これまで、新型コロナウイルスやインフルエンザウィルスがプール水から検出されたという報告はありません。

また、新型コロナウイルスに関する米政府の研究で、「高温多湿の状況下では、より短い時間でウィルスの威力が弱まる傾向が示された」と発表しています。

【当クラブの新たな対応として】

日本スイミングクラブ協会の感染防止に関する発表を受けまして、当クラブと致しまして、これまでの対策に加え、新たに下記の対応をして参ります。

- ① ロッカーやマシン、ストレッチマットの消毒は従来のアルコール消毒と併用して、希釈した次亜塩素水も活用致します。
- ② 館内に設置してあるハンドスプレーを、アルコール消毒液と希釈した次亜塩素水の2種類を活用致します。
- ③ プール、ホットヨガスタジオの環境は安心
(プール・ホットスタジオは常に湿度50%以上が保たれている空間であり、加えてホットスタジオには天然エコ除菌「ディフェンドウォーター」を設置しております。プールに関しては厚生労働省の定める、次亜塩素濃度で殺菌された水が常に循環しております。

以上